

2018
3月
 NO.130

福祉情報誌
 ふくどん

福井

〈福祉の情報てんこ盛り〉

じゃがいも畑でハイタッチ
 ～西原南幼稚園・はばたき交流会～



ダンスも披露!



目次

- 西原南幼稚園・はばたき交流会・・・1
- ちよっと福祉出前講座(西原小、西原東小、西原南小)
- 社会的孤立対策モデル事業・・・2
- いいあんべー家だより／はばたきだより・・・3
- お知らせ／デイサービス孫の手・・・4

編集・発行



社会福祉法人
 西原町社会福祉協議会

〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地
 TEL 945-3651 FAX 946-6777
 URL www.nisya.net
 E-MAIL nisya@nisya.net

「福井」は社協会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、沖縄県補助事業等によって作成されています。

『指先』で読む ちよつと福祉出前講座

西原小学校
西原東小学校
西原南小学校

「ちよつと福祉出前講座」は、町内学校や各地域を対象として、講話や疑似体験をおし、障がいがある方の生活を知ること、優しい町づくりを考える目的で実施しています。

今回は、町内小学校3校（西原小、西原東小、西原南小）の4年生を対象に、視覚障がい者の金城利信氏と聴覚障がい者の羽地裕樹氏を講師に招き福祉講話を行って頂きました。

金城さんの講話では、目がみえなくても、指先、耳、肌、鼻、足の裏からの情報で生活していることや、生活用品の中には、点字で書かれているもの、印がついているものがあることについて触れ、生活するうえで工夫されていることを話して頂きました。

また、点字共用品の紹介では、点字絵本や点字トランプ、点字版の紹介をしました。

共用品に初

めて触れる児童らは、「指先で読む」感覚に興味津々で、実際に目を閉じて体験する姿はとても印象的でした。



▲視覚障がい者用オセロに触れる児童（西原東小学校）



▶白杖について説明する金城氏（西原小学校）



←手話を教える羽地氏（西原南小学校）

羽地さんの講話では、ろう学校の様子や現在の仕事の様子など、普段のくらしについて話していただきました。また、聴覚障がい者のコミュニケーションの手段として「手話」「口話」「筆談」等があることを伝え、児童らに手話のあいさつや「指文字」を使っての名前を覚えて頂きました。

児童から「先生は手話でどうやるの?」「私の名前は?」などの質問があり、初めて知る手話の表現に集中して学んでいました。終わりに、覚えてたの手話を使って羽地さんにお礼を伝え、児童にとって新しい発見や言語を覚えた貴重な時間でした。



▲アイマスク体験をする児童（西原南小学校）

アイマスク体験で児童は、わずかな段差に驚きの声をあげ、いつもなら走り回る校庭を一步一步ゆっくりと歩いていました。

また車いす体験では、少しの段差や坂道でも「バリア」に感じることに、介助者との信頼関係が築けなければ安心して身を任せることができないということ、について学びました。

体験を終えた児童からは、「普段歩く道が長く感じた」、「介助者は、細かいところまで伝えることが大切なんだなと思った」、など様々な感想がありました。

初めての体験の中で怖さを感じつつも、手助けしてくれる人のありがたさや心強さに気づくことができた体験となりました。

役割を再確認

社会的孤立対策モデル事業
地域窓口相談員連絡会
—社協—

地域福祉の課題等が増大し、社会的孤立をつくらない取り組みが求められている中、本会では地域で相談と支援ができる支え合い体制づくりとして、町内10自治会を今年度のモデル区自治会と認証し、地域の公民館において相談窓口を開設し地域住民のよろず相談に対応しています。

2月13日、地域窓口相談員連絡会を中学校区圏域別に開催し情報交換を行いました。

連絡会は、地域を超えた相互扶助や、相談員及び自治会の抱え込みを防ぐことを目的として開催し、誰もが安心して暮らしていける地域づくりに向けた活発な意見交換が行われました。また、地域の現状と課題、活動助成金を活用した具体的な取組みとその効果についても情報共有を行い、今後の地域づくりに向けた地域の役割を再確認することができました。

- ◆西原中学校区
森川、上原、翁長、安室、県営西原団地、徳佐田
- ◆西原東中学校区
小橋川、県営内間団地、兼久、与那城



▲西原中学校区圏域



▲西原東中学校区圏域

西原町介護予防拠点施設 いあいあんべー家だより



開館日：毎週月曜日～土曜日 時間：9時～17時 休館日：日曜日・祝日・年末年始・慰霊の日(6月23日)
 対象者：西原町在住・在勤の40歳以上の方 利用料：100円【マッサージ器具などを利用できます】
 場所：西原町字与那城135番地(中央公民館隣) 電話：098-946-1734



平成30年度体操教室 募集

いあいあんべー家では、介護予防を目的に、自宅でも取り入れられる内容で、**筋力トレーニング**や**ストレッチ**を中心に実施しております。週に4日間(全5回)の体操教室を開催しており、**男性だけの体操教室**も行っています。体操教室の参加者募集は随時行っておりますので、興味のある方、参加希望の方は、窓口までお問い合わせください。



ロケット体操

日時 4月9日スタート

月曜日	10時～10時45分
水曜日	10時～10時45分
土曜日	10時～10時45分

ロケット体操男塾

日時 4月12日スタート

木曜日	10時～10時45分
-----	------------

- **場所**
西原町いあいあんべー家
- **対象**
西原町在住、在勤**40歳以上**
運動制限の無い方
- **受講料**
無料
- **持物**
動きやすい服装
室内シューズ
飲み物
- **申込み**



- **場所**
西原町いあいあんべー家
- **対象**
西原町在住、在勤**40歳以上**
運動制限の無い方
男性
- **受講料**
無料
- **持物**
動きやすい服装
室内シューズ
飲み物
- **申込み**
窓口にて書類の提出(①～③)



【提出書類】

- ① 参加申込書
- ② 参加同意書
- ③ 情報提供書

※事業を安全に進めていくために、通院されている方や疾患がある方は、申込時に「**医師からの情報提供書**」※いあいあんべー家指定用紙の提出も必要になります。
 ※65歳以上の方で、内科に通院していない場合は、人間ドック又は健康診断の結果を持参の上、要相談となります。

はばたきだより

みんなで大興奮!

2月9日(金)はばたきの畑にて、西原南幼稚園の園児達と一緒にジャガイモ掘り交流会を行いました!

昨年10月に子ども達と一緒に植えた種イモが4ヶ月の時を経て、たくさん実っているのを見てみんな大興奮!

交流会では、はばたき利用者の喜屋武明さんによる「誰が一番大きいジャガイモを収穫するか大会」も開催され、計りの前には我こそがナンバーワン!という園児たちが長蛇の列をつくり大いに盛り上がりました(一番大きいジャガイモは幼稚園児が掘った420グラムでした)。

利用者も園児も笑顔いっぱい楽しい交流会になりました。

たくさん採れたジャガイモは、恒例のカレーパーティーで美味しく頂く予定です。



- 名称
社会福祉法人西原町社会福祉協議会 サポートセンターはばたき
- 営業日
毎週月曜日～金曜日 (土・日・祝日は休み)
- 開所時間
8:30～17:15
TEL: 943-6251

はばたき農耕班の かわいい花苗たち

農耕班では、花苗の育苗、花壇管理、ボカシ作り、畑作業等を行っております。今回は、花苗を販売するに至るまでの作業を軽くご紹介! 種まきは小さい種ほど手間がかかる時もありますが、めげずに利用者・職員一同力を合わせて頑張っております。その後成長を見ながら本葉が2〜3枚になってから鉢上げを行います。根つきはじめたら、IB化成肥料を入れ花苗が順調に育ていけるようサポートします。その後順調に育ち、開花が近い花苗ははばたき事務所の前に移動して、販売しています。



▲マリーゴールド



▲インパチェンス

- 販売中の花苗
クリサンセマム
ペチュニア
サルビアレッド
インパチェンス
などして
コスモス
マリーゴールド
●販売予定の花苗
ペゴア
(赤、白、ピンク)



各種40円

←ペチュニア



華やかに一年の幕開け - 西原町内福祉団体「初興し」 -

1月31日(水)町中央公民館ホールにて、町内福祉団体が一堂に集い、新たな一年の幕開けを共に祝い、相互の親睦とさらなる連携を深める目的で「初興し」実行委員長渡久山勇(町身体障害者協会副会長)が開催されました。

当日は、町内福祉関係20団体(145名)が参加し、新たな一年の幕開けを共に祝いました。町ボランティア連絡会による「良い正月やいびんや〜」で華やかに幕開けし、町身協の視覚部三線サークル水曜会、町保育連絡協議会による余興で盛り上がりました。また、参加者全員で「ともだち賛歌」の歌に合わせ円になり、手を取り合って親交を深めました。



▲参加者全員による「ともだち賛歌」



▲三線サークル水曜会



▲町ボランティア連絡会



▲町保育連絡協議会



▶力強く「えいえいおー」体操をしている様子

健康一番!
インフルエンザを吹き飛ばせ!
デイサービス孫の手

デイサービス孫の手では、猛威を振るうインフルエンザの対策の為、利用者に対する小まめな手洗いうがいの声掛け、検温、室内の加湿など、看護職員を中心に大忙しの2月でした。また、インフルエンザに負けない体力作りのため、常勤の理学療法士と非常勤の作業療法士、介護職員による指導の下、自宅でも出来る健康体操、リハビリに励みました。

御芳志 御芳志がありましたので、紙面にて紹介し深く感謝申し上げます。

- ◆香典返し◆
 - ・字我謝、新垣ハル子様より 故夫 勇 様の香典返しとして 3万円
- ◆お元気ですか事業への野菜提供◆
 - ・JA西原青壮年部 様より (キャベツ、インゲン、大根)
 - ・西原ファーム新川 様より (からし菜)
 - ・字安室、金城洋子 様より (サラダ菜、人参)
 - ・字小波津、小波津盛光 様より (インゲン、ほうれん草、じゃがいも)
- ◆物品寄贈◆
 - ・字内間、新川千代子 様より サポートセンターばたきへ 小麦粉10袋 「町内福祉団体初興し」「社会福祉大会」へ サーターアンドギー提供



熊本県西原村 日置村長 一復興支援に感謝一

▶右から与那嶺町社協副会長、前田町社協事務局局長、新川町議会議員、須藤課長、日置村長、大城町社協会長、平安町老人クラブ会長、比嘉町自治会長、新城日本防災士会沖縄県支部支部長



1月25日、熊本県西原村の日置和彦村長と須藤博企画商工課長が西原町社協を訪れました。

西原村は、平成28年4月14日及び16日に発生した熊本地震で被災した村です。町社協では、復興支援に向け義援金を募りました。

当日は、新川喜男町議会議員、平安恒政町老人クラブ会長、比嘉利和町自治会長、新城格日本防災士会沖縄県支部支部長(西原町在)を交え、災害時の様子や復興状況について話しを聞きました。日置村長は「みなさまからの暖かい支援をうけ、西原村も少しずつ復興しております。ありがとうございます」と感謝の気持ちを述べられました。

「鯉のぼり」をお譲りください



社会福祉協議会では、4月の鯉のぼり掲揚式に社会福祉センター敷地で空いっぱい泳がせるため、鯉のぼりを寄贈して下さる方を募集しております。ご家庭で不用になっている鯉のぼり等がありましたら譲りください。

【問い合わせ】西原町社協 945-3651